
マネーフォワードの実運用を共有

SaaS管理ガイド2023



はじめに

近年テレワークをはじめとした企業の働き方が大きく変化し、DXの一環としてSaaSを利用する企業が年々増えています。

一方で、SaaSを数多く導入している企業では、増え続けるSaaSについてどのように管理すべきかベストプラクティスが無い状態です。

そこで、本資料では300個のSaaSを利用する株式会社マネーフォワードでの実際の運用を共有し、SaaS管理課題を解決できるサービスをご紹介します。

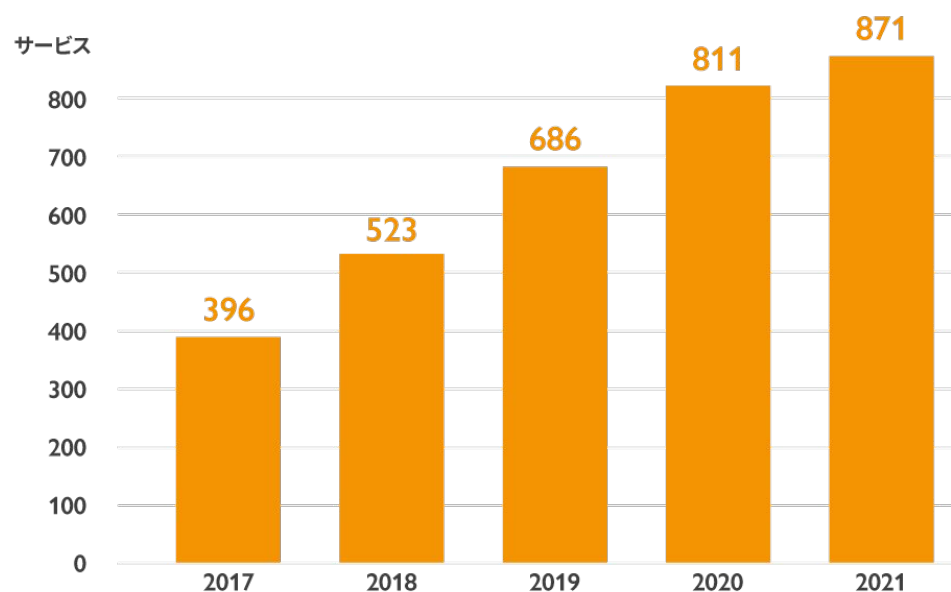
P.2	SaaS利用企業が増加
P.3～9	SaaS利用における課題
P.10～12	SaaS管理課題へのアプローチ
P.13～20	マネーフォワードのSaaS管理アプローチ
P.21～28	マネーフォワードのアプローチの変化
P.29～34	マネーフォワードの今
P.35～37	SaaS管理を解決するマネーフォワード Admina
P.38	お問い合わせ



SaaS利用企業が増加

近年では利便性や効率性の向上のため、SaaSを導入する企業が増えています。

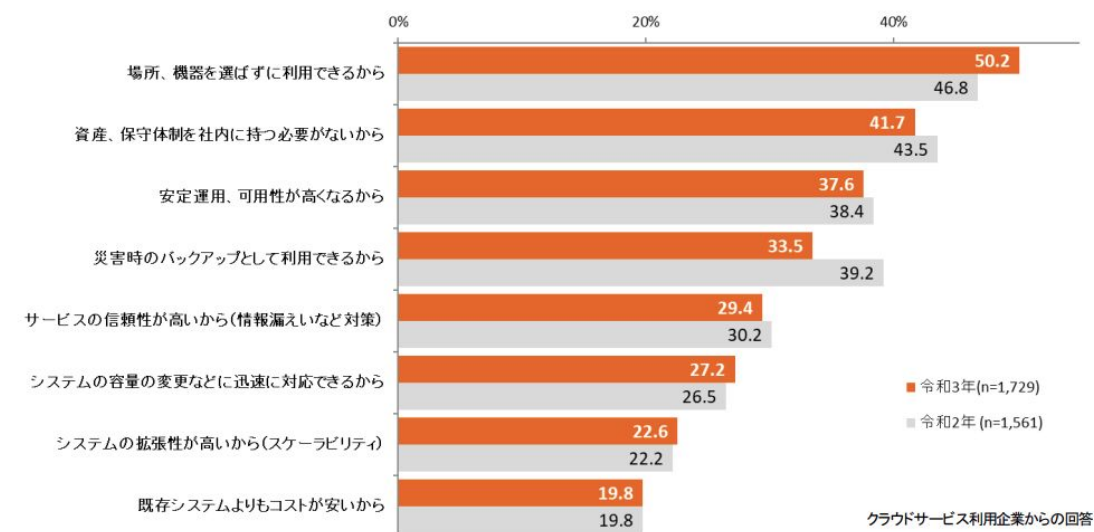
※SaaS (Software as a Service) ...従来パッケージソフトとして提供されていた機能が、クラウドサービスとして提供される形態のこと



参照: スマートキャンプ株式会社『SaaS業界レポート2021速報版』

SaaS利用の需要に伴い、日本国内で普及されているSaaSの提供数は2017年から5年間で2倍以上に増えたと考えられる

図表4-4 クラウドサービスを利用する理由（複数回答）



参照: 総務省『令和3年通信利用動向調査』

業務を行う際の利便性や、事業を運営する上での効率性を求めてSaaSが利用されている



SaaS利用における課題

SaaS利用における課題の全体像

SaaSが管理できていない



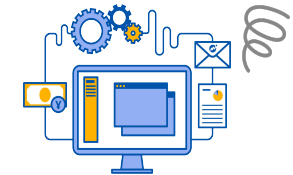
- Excelで管理しているが、**棚卸しの度に人的コストが都度発生している**
- 事業部がSaaSをどんどん導入していき、ガバナンスが効かせられていない

セキュリティへの懸念



- 事業部管理でのSaaSについて、**退職者アカウントが削除されず、残り続けている**
- シヤドーITが検知できないため、**リスクを感じている**

無駄なコストが発生している



- **使っていないSaaS(または無駄なアカウント)に対して費用支払が発生してしまった**
- **いつの間にかアカウントが増えており、高額な決済が発生した**

SaaSの管理ができていない

SaaSが管理できていない



- Excelで管理しているが、棚卸しの度に人的コストが都度発生している
- 事業部がSaaSをどんどん導入していき、ガバナンスが効かせられていない

セキュリティへの懸念

「SaaSは社内にいくつありますか？」という問い

- ・スプレッドシートでの管理に限界
- ・事業部主導でSaaS導入が進むため、社内全体の状況を誰も把握できていない



セキュリティへの懸念

セキュリティへの懸念



- 事業部管理でのSaaSについて、**退職者アカウントが削除されず、残り続けている**
- シャドーITが検知できないため、**リスクを感じている**

セキュリティへの懸念

退職者アカウントが残り続けるリスクの高さ

- ・退職者アカウントの実態
- ・シャドーITを検出するソリューションの必要性

セキュリティへの懸念

独立行政法人情報処理推進機構の2021年3月18日に掲載されたレポート(※)によると、誤操作の割合が減り、退職者による漏えいが増えている。

3. 情報漏えいルートでは「誤操作、誤認等」が21.2%と前回調査に比べ約半減。その一方で「中途退職者」による漏えいは前回より増加し36.3%と最多（報告書P28）。

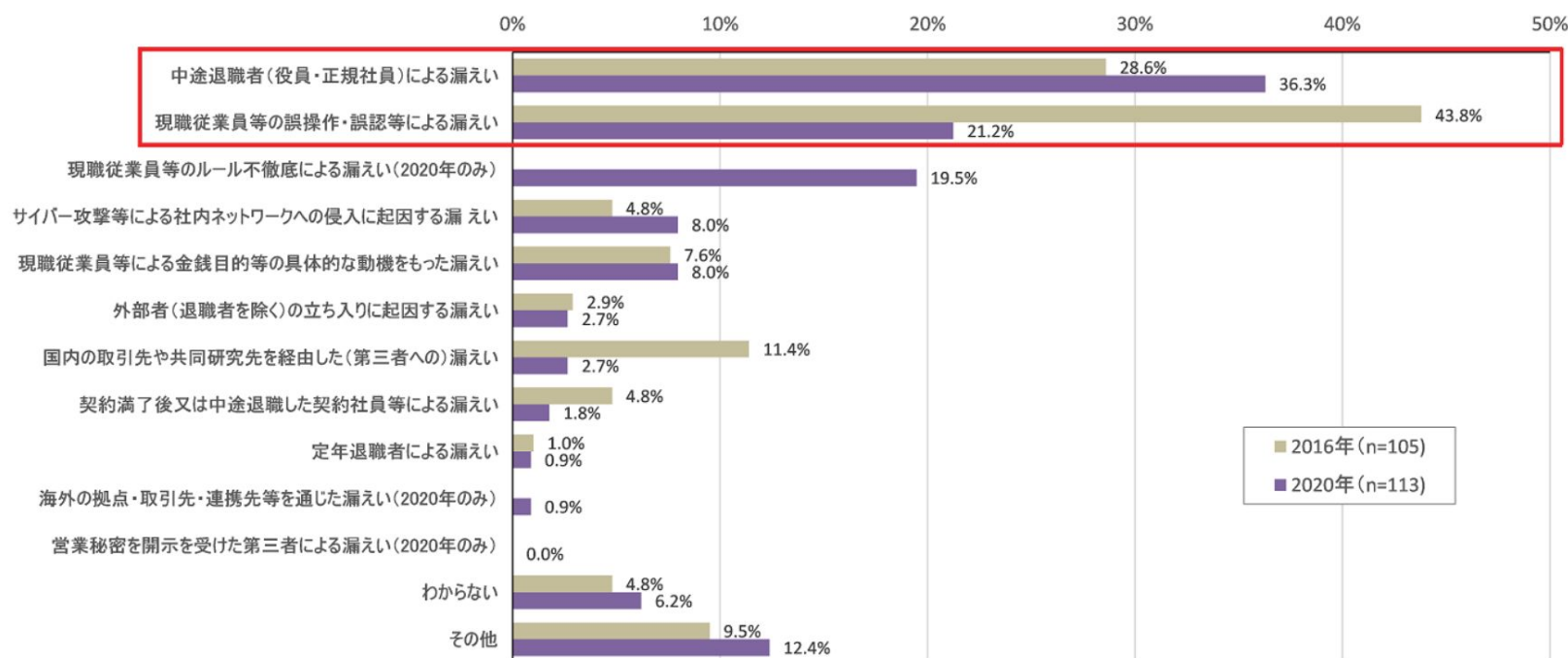


図4： 営業秘密の漏えいルート

退職者アカウントの実態

～ デジタルクラッターと不十分なアクセス権管理が、企業にもたらすリスク ～

[本リリースは、2019年5月14日、5月30日にKasperskyが発表したプレスリリースに基づき作成したものです]

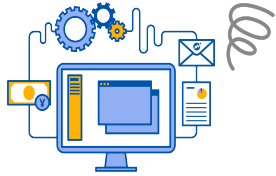
Kasperskyは、日本を含む世界14か国の企業に勤務する7,000人を対象に、業務で使うデジタルデータの管理に関するインターネット調査※1を実施しました。調査の結果から、デジタルクラッターと呼ばれる、企業内で無秩序に増大する管理されていないファイル、文書やデータの存在、およびファイル共有や共同作業向けのサービスに対するアクセス権の管理が不十分な場合、企業にリスクをもたらす可能性のあることが明らかになりました。

■ 33%が、退職後もファイル共有や共同作業向けサービス、メールにアクセスできると回答

調査では、33%（日本は34%）の回答者が、退職した職場の共有ファイルや共同作業向けサービス、メールにいまだにアクセスできると答えています。元従業員のアクセス権限が変更されずにそのままになっていた場合は、データ漏洩やサイバーインシデントの原因となる可能性があり、企業にとっては重大な問題です。また、元従業員が別の目的でアクセスし、ファイルや文書を誤って削除、または破損してしまい、データの整合性が取れなくなる可能性もあります。

退職者アカウントの実態

無駄なコストが発生している



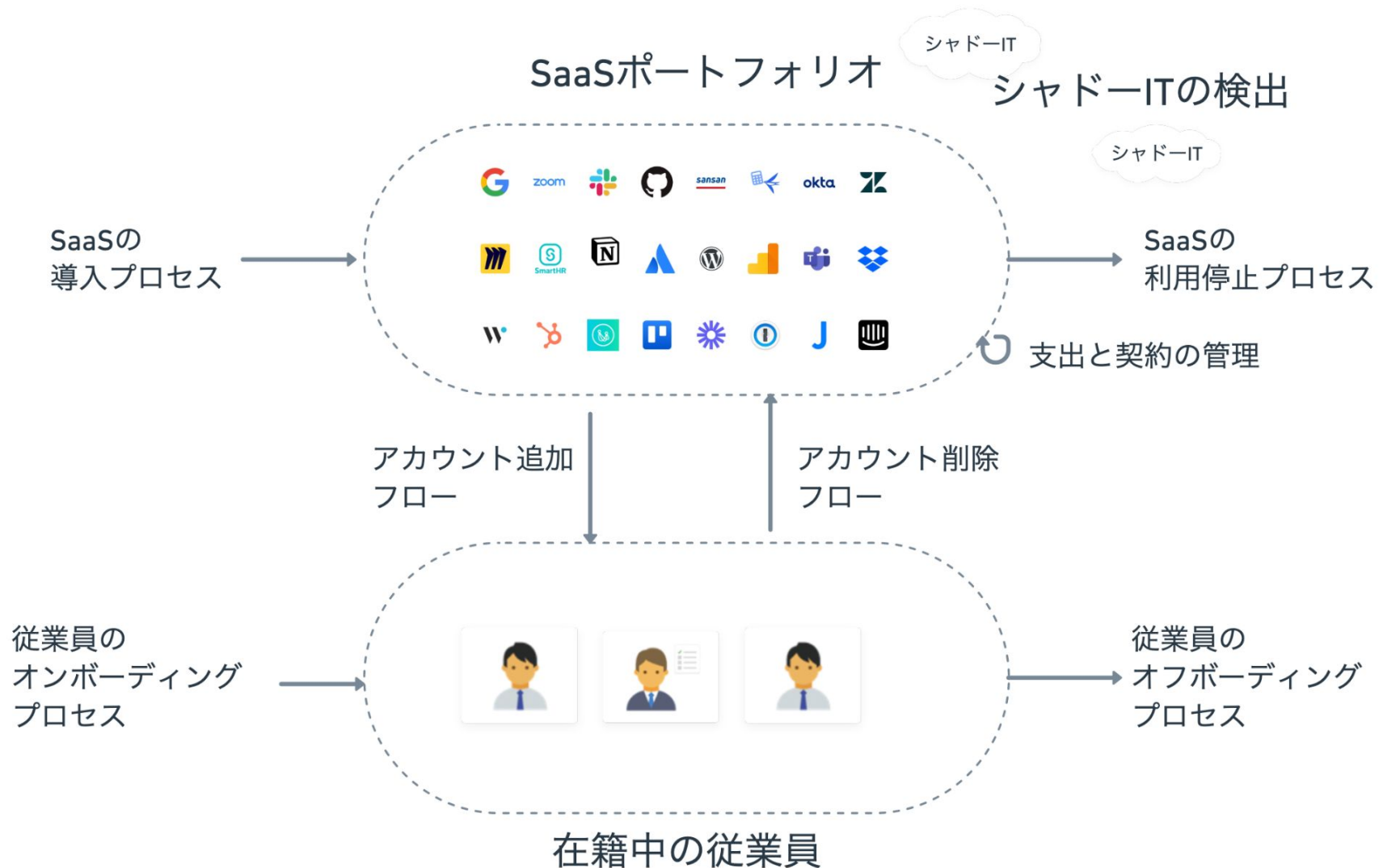
- 使っていないSaaS(または無駄なアカウント)に対して費用支払が発生してしまった
- いつの間にかアカウントが増えており、高額な決済が発生した

セキュリティへの懸念

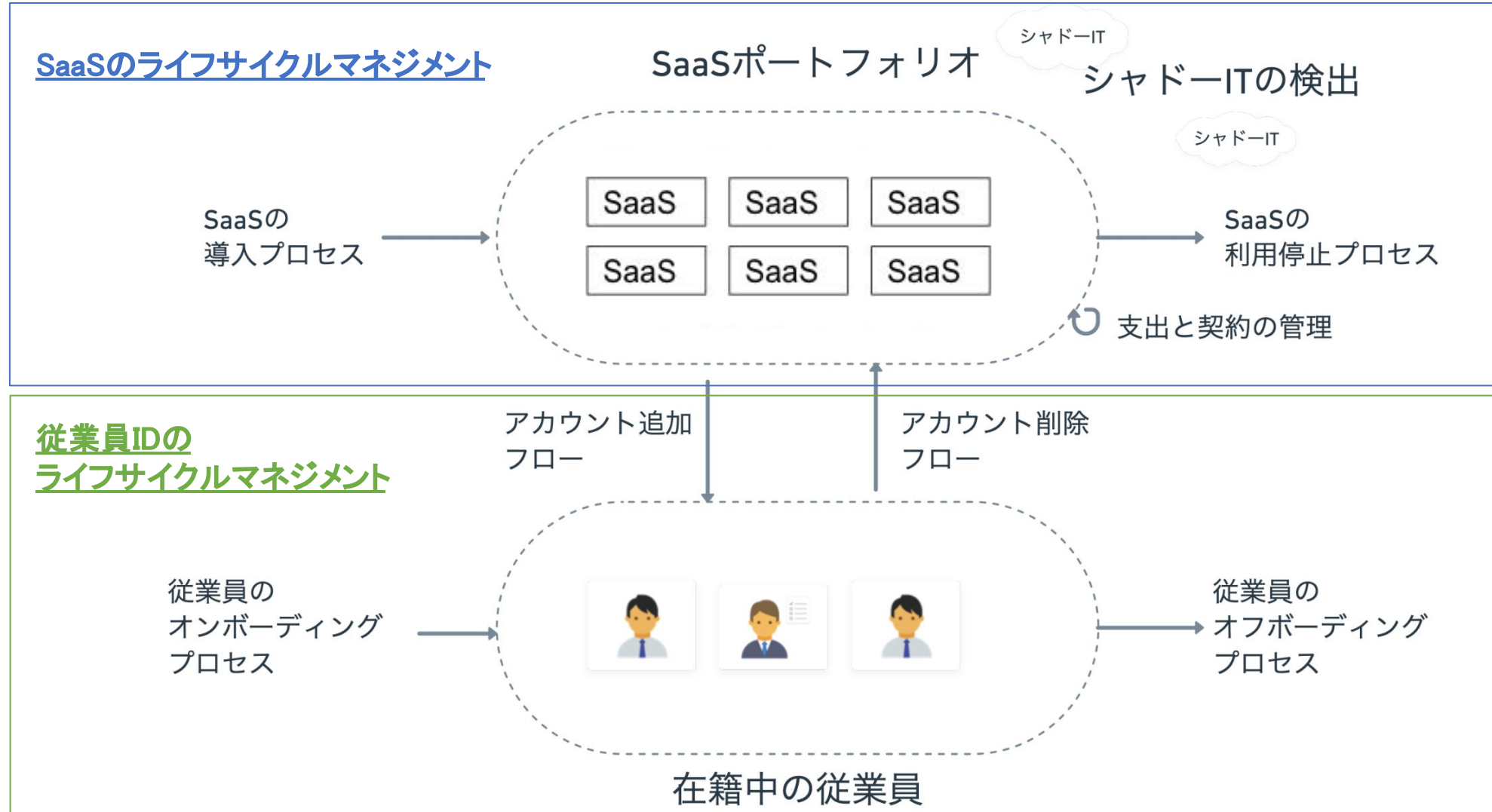
- ・ライセンスを付与していても実は利用度が低い
- ・SaaSの費用を把握している人は社内には存在しない
- ・利用していないSaaSがいつの間にか更新される

SaaS管理課題へのアプローチ

SaaSのライフサイクルの全体像



2つのライフサイクル

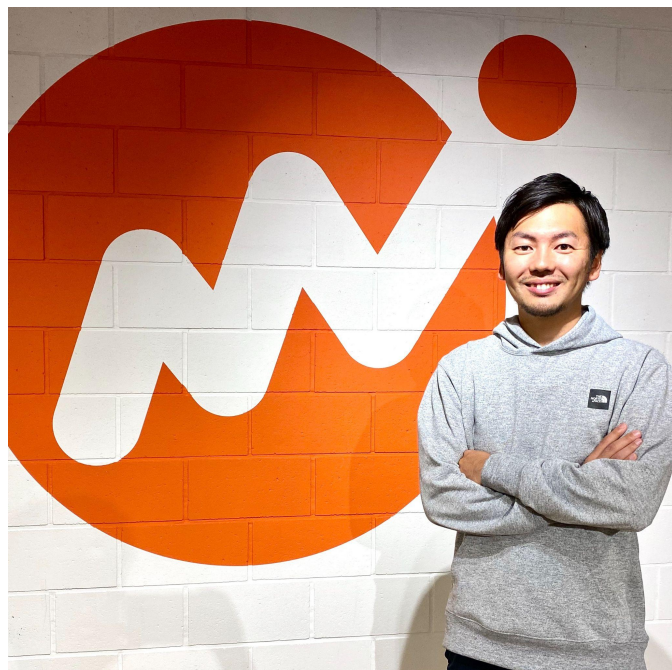


マネーフォワードのSaaS管理アプローチ

マネーフォワードのSaaS管理

1. 何故SaaS管理を始めたのか
2. SaaSの可視化・アカウント管理・コスト管理
3. 見える化した先にある課題

ホワイトペーパー監修者の紹介



株式会社マネーフォワードCIO

マネーフォワードi株式会社 取締役

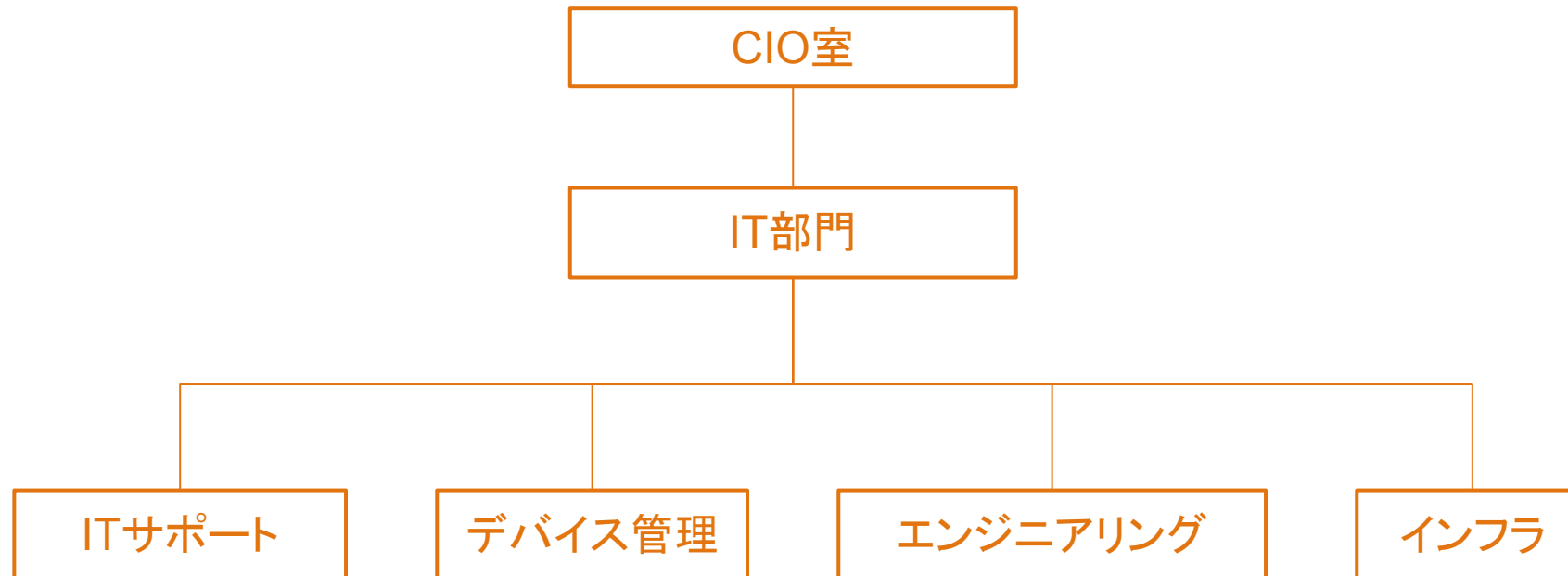
高野 蓉功

2006年にヤフー株式会社に新卒入社。社内システムの開発、運用、インフラ構築などに従事しその後エンジニアチームのリーダーとしてサイバーテロ対策、情報システム戦略、情報システム部門の部長として社内IT環境のモダン化を推進。2019年9月に株式会社マネーフォワードに入社。情報システム部門の責任者として社内IT環境の整備やマネーフォワードグループ全体の情報共有基盤の構築などを行う。

これまでの体制

株式会社マネーフォワード

従業員数：1,909人^(2022年11月期決算説明より)を支える情シスチーム



これまでの取り組み



基本方針

- CIO室は全従業員が利用するSaaSの管理
- 事業部門は事業部内で利用するSaaSの管理

※ SaaSの管理とは予実管理・契約管理・支払管理・アカウント管理など

事業部門が業務に必要なSaaSを自分達で選定して導入するのが早い&上手く活用できる！

その結果、SaaSの数は**300**超えに

これまでの取り組み

CIO室が管理しているSaaS

グループウェア

チャット

Web会議

タスク管理

ナレッジシェア

IPaaS

受付

MDM(Mac)

名刺管理

電話システム

etc

事業部門が管理しているSaaS

会計システム

サーバー監視&分析

情報共有

サポートシステム

SFA/CRM

人事システム

etc



これまでの取り組み



個人情報を取扱うTier1のSaaSはIdP(AzureAD)でアカウント管理

※ IdPの認証はMFA + 条件付きアクセス(MDM連携)

情報資産の洗い出しと資産管理台帳の作成

SaaS管理をできていると思っていた。しかしながら、

- コストが急激に増えているSaaSの認識遅れ(1年で**4倍の金額**に)
- IdPで管理していないSaaSで退職者アカウントの**削除漏れ**

社内の実際のやりとり1

実は、私がFIGMAの導入・運用担当者です。という方へ。

なんか、7月のクレカ支払いが、1000万超えているんですけど、これはだれがグリップしているのかな？

社内の実際のやりとり2(個人情報や機密情報を含まないTier2以下のSaaSになります)

「退職したxxさんより、xxツールがまだ見れると連絡ありました。アカウント解除をお願いしたいです。」

マネーフォワードのアプローチの変化

体制と取り組みの変化

- ・SaaS Managementチームの設立
- ・取り組みのステップ化



(1)現状把握

全社で利用しているSaaSの可視化

(2)一時的な対応

退職者アカウント削除、アカウント棚卸し、契約見直し

(3)プロセス変更

アカウント発行プロセス見直し

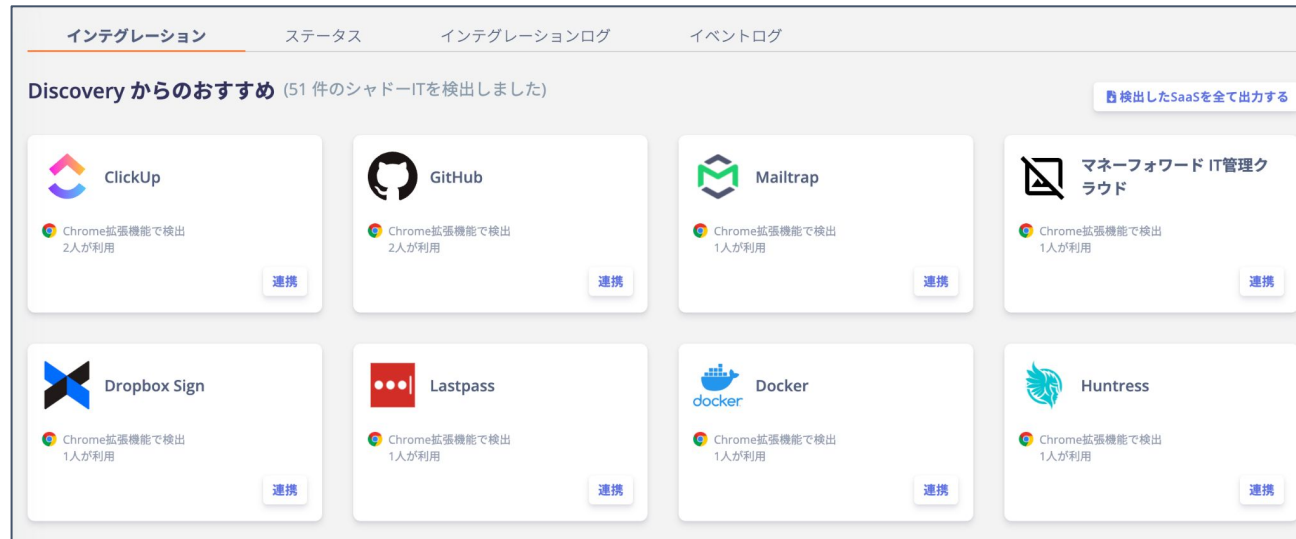
現状把握(可視化)

SaaSカタログ作成

- 社内で利用中のSaaSをリストでまとめたもの
 - 利用対象者、管理部門、管理者、利用方法などを記載
- ※ 可視化後のアクションに必要な項目

対象	カテゴリ	SaaS名	SaaS管理部門	SaaS管理者（メールアドレス）	利用方法
法務知的財産本部			法務知的財産本部		
法務知的財産本部			法務知的財産本部		
法務知的財産本部			法務知的財産本部		
法務知的財産本部			法務知的財産本部		
法務知的財産本部			法務知的財産本部		
分析推進室			分析推進室		
全従業員			CIO室		
全従業員			CIO室		
全従業員			CIO室		
全従業員			CIO室		
全従業員			CIO室		

現状把握(可視化の方法)



Step1: AdminaのDiscovery機能利用

- 従業員が利用しているSaaS検出
- SaaS毎に利用アカウント検出
- SaaS毎に支払データ検出

Step2: SaaSカタログに反映

- 支払データがあるSaaSの登録
- 無料SaaSも利用状況調査して登録

※ Adminaの9万のSaaS DBと支払データをマッチング

☐		Bitwarden	2023/02/07	¥ 529	BITWARDEN. USD : 3.86		経費	<
☐		GitHub	2023/02/07	¥ 401	GITHUB. USD : 2.93		経費	<
☐		Bitwarden	2023/02/06	¥ 1,623	BITWARDEN. USD : 12		経費	<
☐		Slack	2023/02/06	¥ 1,980	SLACK T0335PEQN04		経費	<
☐		SendGrid	2023/02/06	¥ 2,698	TWILIO SENDGRID. USD : 19.95		経費	<

※画像はサンプルデータです。

一時的な対応/プロセス変更(アカウント対応)

Salesforce Salesforce サービスサイト アカウント 582 通知 1月の支出 N/A エンゲージメントスコア 8/10				
情報 アカウント 通知				
ワークスペース				
ワークスペース	最終利用	アカウント	ステータス	最新取得日
カスタム test-demo-mfi		0	マニユアル	
営業部A	約15時間前	582	同期済	約15時間前

Step1: SaaS管理者探し

Step2: Adminaの連携機能利用

- 各テナント毎に連携
- 各テナント毎にアカウント可視化

Step3: 退職者削除

- 社員マスタ連携による退職者可視化
- Adminaや各SaaSの管理画面で削除処理

SmartHR	mfi	8	14	M S E 和 太 N 太 N F 今
Figma	mfi	2	6	E I I T T
Google Workspace	iggre.net	7	19	A S C T N 浜 T K F 齊
HubSpot	mfi		21	I I K K Y N
Microsoft 365	iggre.net	57 9	78	T A C T I 慎 K M M N
Salesforce	2 ワークスペース	8	582	阿 阿 A 阿 阿 A A 玄 葉 相

※画像はサンプルデータです。

一時的な対応/プロセス変更(アカウント対応)

Step4: 定期的に各アカウントの利用状況を見てアカウント棚卸

Adminaの画面で各SaaSのLastActivityが確認可能

※ SaaSの管理画面でLastActivityが確認できるSaaSは少ない

N

Notion

サービスサイト

アカウント

51

通知

▲1▲2

7月の支出

N/A

エンゲージメントスコア

N/A

情報

アカウント

通知

名前、メールアドレスで検索

絞り込み

ChromeでNotionにアクセスした時間

ユーザータイプ

全てのロール

その他の絞り込み

ユーザー / メールアドレス

最終利用日

ユーザータイプ

ロール

ステータス

2FA

操作

38分前

従業員

ACTIVE

-

23分前

従業員

ACTIVE

-

-

従業員

ACTIVE

-

約1時間前

従業員

ACTIVE

-

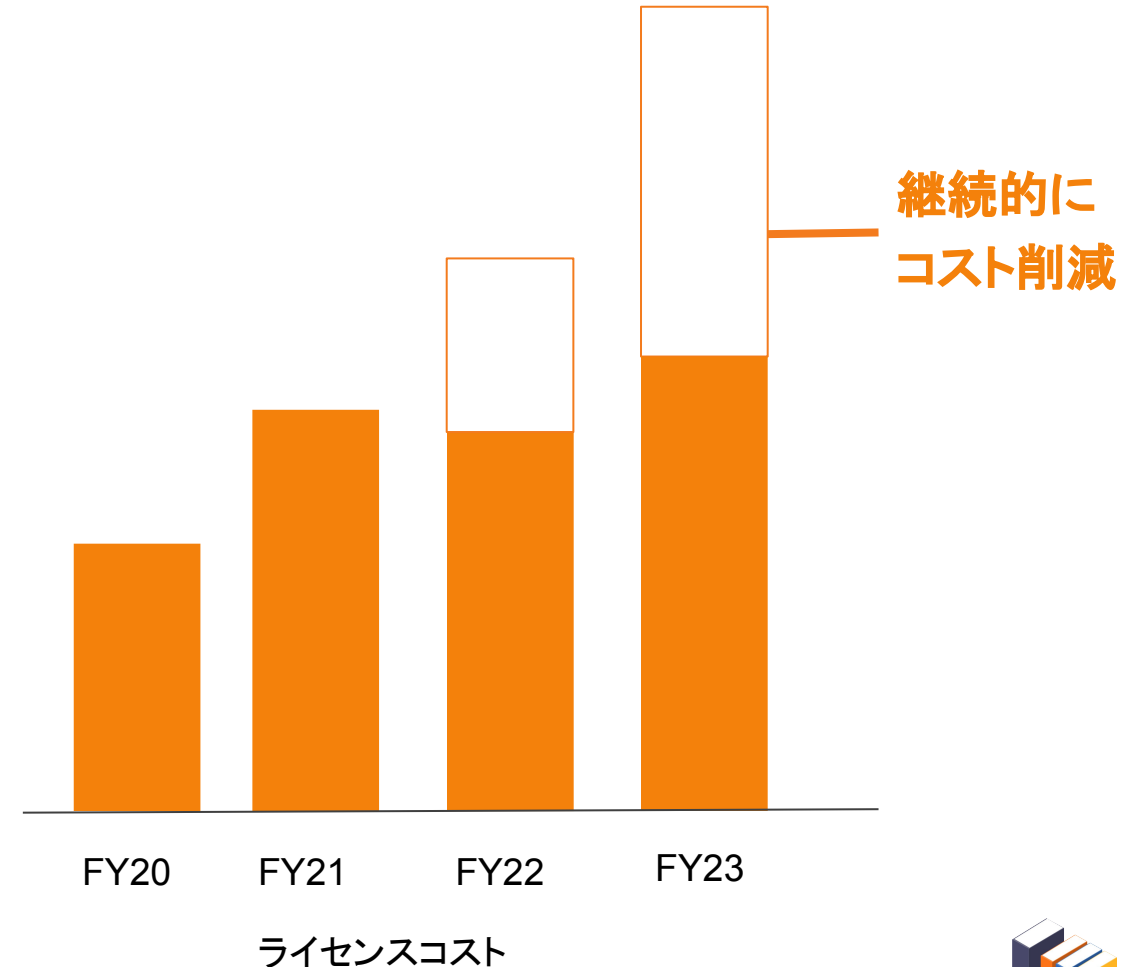
5日前

従業員

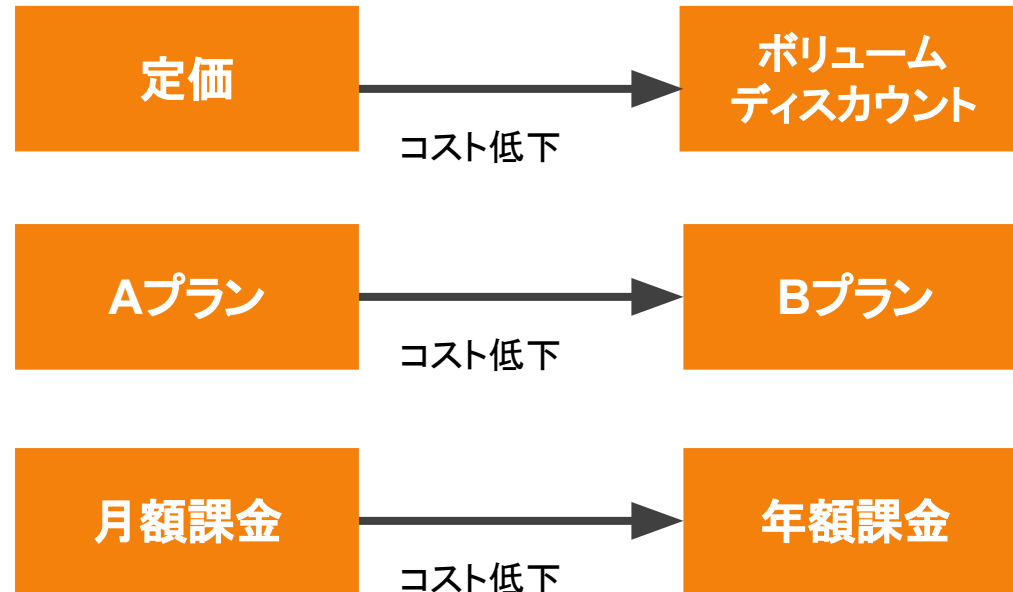
ACTIVE

-

※画像はサンプルデータです。



一時的な対応/プロセス変更(コスト)



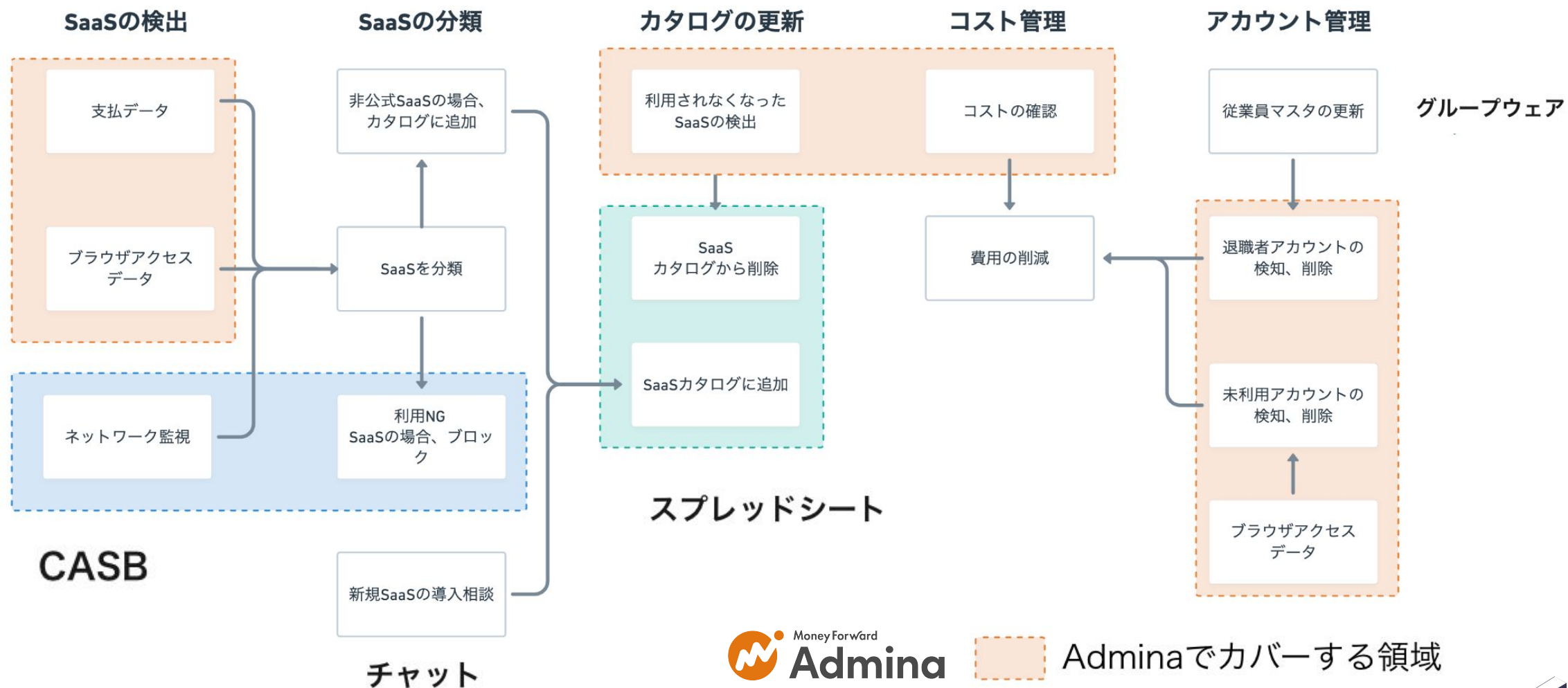
利用状況に応じた対応を実施(筋肉質な体質に)

- 利用者増によるボリュームディスカウント交渉
- ゲストアカウント増によるプラン見直し
- 定着してきたSaaSを年間払いへ

予算・実績管理業務の効率化も実現

- 本当に必要なライセンス数がすぐわかる
- 人員計画を元に計算しやすい

SaaS管理構成図



マネーフォワードの今 ～新たな課題の発見～

新しいSaaS管理課題

SaaSポートフォリオ最適化の為、

- UX(コスパ)が悪いSaaSのリプレイスが必要
- 同じカテゴリ・機能のSaaS統合が必要

セキュリティレベル向上の為、

- 外部共有機能のあるSaaSの厳格な管理が必要
- ゲスト管理の厳格な管理が必要



各SaaSの深い理解が必要

SaaSソムリエ

各SaaSの深い理解が必要



SaaSの機能・プラン・業務フィット・管理方法を熟知した

SaaSソムリエの必要性を痛感



SaaSソムリエ



SaaSManagementチームのメンバー1人をSaaSソムリエにアサイン
社内導入済みSaaSの機能・プラン・業務フィット・管理方法をひたすら調査開始

SaaSソムリエの活動

SaaSポートフォリオ最適化

- **統合検討**
 - CIO室(IT部門)が管理してるSaaSに吸収できるもの
 - 同じカテゴリ・機能のSaaS
- **統合サポート**
 - 効率的な移行方法の提案
- **新規導入相談対応**
 - 社内導入済みSaaSの紹介 or 新規導入サポート
- **リプレイス検討**

某タスク管理ツールA

某タスク管理ツールB

某ナレッジ共有ツールA

某ナレッジ共有ツールB

某ストレージサービスA

某ストレージサービスB



SaaSソムリエの活動

セキュリティレベル向上

- 外部共有機能のあるSaaSの管理
 - リストアップ
 - 機能調査・設定状況確認(SSPM的な事)
 - 注意事項整理
 - CASB連携
- ゲスト管理の厳格化
 - SaaS管理者と連携して地道に対応

SaaS Security Posture Management

SaaSソムリエについて
SaaSポートフォリオ最適化とセキュリティレベル向上に向けて活動中。

SaaS管理を解決する マネーフォワード Admina

Adminaの機能概要

SaaSの可視化だけではなく、SaaSアカウントの退職者アラート、削除のオートメーションなど
SaaS管理における様々な機能があります。

＜業務効率化＞

SaaSの一元管理/アカウント管理



SaaS軸で、利用SaaSの一覧情報を可視化します。
権限情報・ステータス・他要素認証でのログイン有無も可視化し、従業員/社外/システム(ML)など自動で判定します。

＜業務効率化＞

アカウント発行/退職者削除



ご利用のSaaSにアクセスすることなく、Admina上で、アカウント発行や、退職者などの不要なアカウントを削除することができます。

＜セキュリティ強化＞

シャドーITの検知



Admina上で連携可能な「社内で利用されているSaaS」を可視化。またAdmina上で非連携のSaaSも利用者を特定した状態で検出します。

＜セキュリティ強化＞

退職者アカウントの自動検知



Admina上で、退職者などの不要なアカウントを自動で判定、検出し、アラート通知します。

＜コスト削減＞

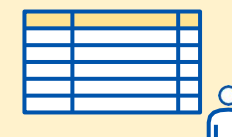
SaaSコスト削減効果



非アクティブなSaaSアカウントを検出し、アラートを通知することで、長期間使われていないアカウントを洗い出し、コスト削減余地を提案します。

＜コスト削減＞

自動連携によるSaaSコスト管理



会計ソフトや経費精算/支払請求書ソフトと連携することでSaaSに関わるコストをAdminaで可視化ができます。

ご導入企業様



Adminaが選ばれる理由

連携SaaSのカバレッジの広さや、アカウント管理も導入にかかる時間も非常にスムーズで効果をすぐ実感いただけます。

メリット1

連携SaaSが**240以上**

...

Moneyforwardの技術力で、自動で連携できる SaaSは240以上。
随時、連携できるSaaSが増えています。**カバレッジの高さが特徴です。**
連携に対応していないオンプレなどのシステムも手動で登録が可能です。

メリット2

不要なSaaSアカウントの
コスト削減が可能

...

SaaSのLast Activityを検出し、長期間アクセスのないアカウントを検出します。
利用実態の洗い出しによるコスト削減効果や、棚卸しの効率化が見込めます。

メリット3

通知をベースに
退職者削除も**3**クリックで完結

...

退職者アカウントの消し忘れをアラートの通知により防止します。
常に管理画面にアクセスする必要はなく、アラート起点でシンプルな運用が可能です。



会社概要



会社名: マネーフォワードi株式会社
代表者: 代表取締役社長 今井義人
所在地: 東京都港区芝浦3-1-21
msb Tamachi 田町ステーションタワーS 21F
事業開始: 2021年2月
事業内容: マネーフォワードAdminaの開発/提供
株主: 株式会社マネーフォワード(100%)

代表取締役社長



今井 義人

2009年にApple Japanに入社。チャネル戦略などを担当。
2012年、ミイル株式会社でプロダクトマネージャーを経て、
2015年にマネーフォワード入社。
同社「マネーフォワードクラウド経費」のマーケティング、
セールスプロセス構築等、クラウド経費本部の発足時に
本部長に。2021年マネーフォワードiの代表取締役に就任。



会社名: 株式会社マネーフォワード
代表者: 代表取締役社長CEO 辻庸介
上場区分: 東証一部
資本金: 96億1441万円(2020年11月30日時点)
所在地: 東京都港区芝浦3-1-21
msb Tamachi 田町ステーションタワーS 21F
事業開始: 2012年5月
事業内容: PFMサービス及びクラウドサービスの開発・提供

取締役兼プロダクトオーナー



村上 勝俊

新卒からインフラ開発運用保守、PMを担当。
社内開発プラットフォームの運用整備やクラウド導入支援、クラウド
利用ポリシーの整備などを実施。
2019年より関西開発拠点長に就任し京都へ移住。
2020年より本事業を企画立案、2021年に社内起業。





Money Forward Admina

[サイトを詳しく見る](#)

[無料で試してみる](#)

マネーフォワード株式会社 Admina担当

MAIL : bizdev@i.moneyforward.com

URL : <https://i.moneyforward.com/>

